



noum(ノーム)

農業 (nougyou) is mutual、略して「noum」。

mutualとは、「相互に関係のある、共通の」という意味。

農業は生産だけではない。作り手と売り手と買い手が相互に関わり合って成り立つものであり、共通意思をもって持続可能な取組を行うこと。本事業は、その流れ作りをすること。また、ノームとは、ヨーロッパに古くから伝わる土の精霊。老人の姿の小人。大地を司るだけでなく、その見た目から、「農業は人を選ばない」と言っているようで、本事業もそんなメッセージを持ち、農業を志す人々にとって励みとなるものにしたい。風土と人をつながり的大事にする、noumです。

事業紹介

① 農家のPR・ブランディング伴走



R6. 3. 2 日本農業新聞

【富山】園芸品目の新たなブランド「とやまテロワールベジ」の創出に向け、県は2024年度から年に5産地・グループ程度を選定し、ブランド化を支援していく。29日には若手生産者を対象にしたワークショップを富山市内で開催。参加者は、気候風土や文化など土地の個性（テロワール）を生かしたブランドの創造と産地づくりを目指し、アイデアや戦略を話し合った。県は昨年、とやまテロワールベジの第1弾に「新川だいこん」を

富山の個性生かす新ブランド創出 若手農家ら戦略練る

県支援事業でワークショップ

認定した。新年度からのとやまテロワールベジ創出支援事業では、意欲のある産地やグループを募集して選び、



産地のストーリーやキャラクターの作成、プロモーション経費を支援する。飲食店などとのマッチングや情報発信にも力を入れていく。ワークショップの冒頭で説明した。ワークショップには若手の生産・流通関係者ら40人が参加した。日本野菜テロワール協会が、野菜産出額全国最下位から富山県が脱出するための「アレ作戦」について講義。PR会社の「70seed s」は、求められる商品づくりを解説した。生産者らはグループ

に分かれ、ブランド化したい品目の産地づくりや販売戦略を話し合い、発表した。白ネギを検討したグループは「水田で栽培するため「ジューシー」「皮をむくと白くて美肌」など紹介。「新川だいこん」が別名「美人大根」と呼ばれているように「県産野菜を、美人シリーズにしてはどうか」と提案した。他のグループも美味野菜を、県の戦略「寿司」といえば富山に連動させる提案など自由な発想で発表した。

事業紹介

② スーパーの産直コーナー運営・売場作り



「神明を農業で盛り上げる会」

新鮮な野菜を畑から直送しています



アルビスアリス店では、お隣「神明」地区の生産者を中心に地物野菜を販売いたします。生産者の顔が見えて、作り手と消費者の皆様が繋がっていく「新たな食体験」をお届けします。

- ・ n:neutral (中立的な。生産にも販売にも寄り過ぎない。)
- ・ o:objective (客観的な。信じず、疑わず、事実を確かめる。)
- ・ u:unique (個性的な。みんな違ってみんないい。)
- ・ m:mutual (相互の。一方的ではなくお互い様精神で。)

n o u m



お問い合わせ先
大石 和 Yamato Ohishi
oishi@too-inc.com
Mobile : 080 - 4354_5203